

◎令和元年度 東大和市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

今年度で5回目となる東大和市社会福祉協議会主催の、「東大和市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」(災害ボランティア体験訓練)が、ハミングホールにて実施されました。センターは「東大和市地域防災計画」により、大規模災害の発生時、市と社協とが連携して、市民会館(ハミングホール)に設置することになっています。

さらに社協は市と、「災害時におけるボランティア活動に関する協定」を締結し、「東大和市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」(最新版:R1. 11. 1)を作成して、センターの円滑な設置・運営、災害復興を目指しています。

訓練には社協職員の他、東大和青年会議所、南街・桜が丘地域防災協議会、東大和障害福祉ネットワーク、高齢者ほっと支援センター、地域自立支援協議会、自治会関係者、(湖南地区4自治会など)、一般市民(2小PTAなど)、学生(都立東大和南高校、白梅学園大学など)、市職員(地域振興課、防災安全課)等、100名ほどの方々が参加し、熱のこもった訓練が行われました。

【午前の部】

★スタッフ役(総務班、被災者支援班、ボランティア活動支援班)受付開始



★災害ボランティアセンターの説明(社協スタッフによる、事前説明)



災害ボランティアセンター長 様
(社協スタッフ)

★災害ボランティアセンター設置準備



被災者支援班(5班)の班分けと事前打ち合せ



★被災者からの相談電話受付開始(被災者支援班)



1班



2班



3班



4班



5班

ニーズ受付票に記載

5班それぞれの担当
(事前訪問被災場所)
が決まりました。
(2~3ヶ所/班、
合計11ヶ所)



★被災者宅の訪問と調査(被災場所の現状把握)

①ケース1(ちょっと鼻につく若者)(社会福祉協議会内)



②ケース2(中国人)(個人宅)



③ケース3(障害者、車いす使用)

④ケース4(台湾人、高齢者、視覚障害)(個人宅)



⑤ケース5(ペットを飼っている高齢者)(協和三自治会集会所)



⑥ケース6(高齢姉妹、姉が認知症)(南街地区自治会集会所)



⑦ケース7(小さいお子さんがいる妊婦)(向原団地中央集会所)



⑧ケース8(高層住宅)(よつわ自治会)

⑨ケース9(注文が多い人、高齢者)(個人宅)



⑩ケース10(高齢者夫婦)(ほっと支援センターなんがい)



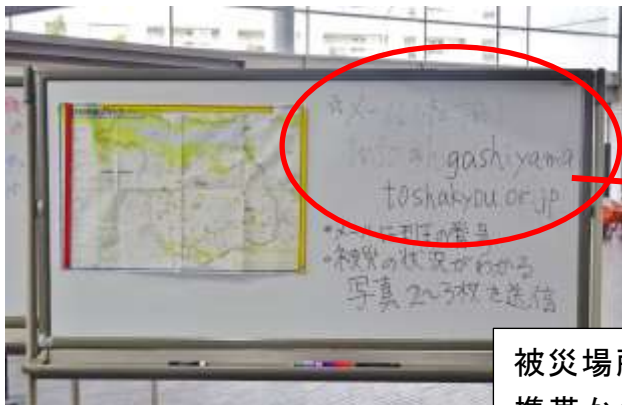
⑪ケース11(避難所支援)(ハミングホール)



★調査の結果・書類作成



ニーズ受付票の完成と、ボランティア募集票の作成。



被災場所写真は、
携帯からメール送
信し、社協で印刷。



ケース①~③



ケース④、⑤



ケース⑥～⑧



ケース⑨～⑪

【午後の部】

★災害ボランティアセンター説明会



説明会場前の展示



「ボランティア初心者の皆様
への説明会を行います。」
(社協スタッフ)





「災害ボランティアセンターとは」
(社協スタッフ)



★ボランティア受付開始(ボランティア活動支援班)



センター長による、ボランティア活動支援班の役割説明。



(1)受付(一般市民ボランティアの受付開始)



(2)記載台(ボランティア受付票の記載)



(3)提出・配布(受付票の提出、ビブスの配付)



(4)ふせん・名札(配付)

(5)注意事項配布



オリエンテーション会場へ

★オリエンテーション開始(ご挨拶)



東大和市社会福祉協議会
会長 様



東大和市 市長様



★マッチングの開始(ボランティアが派遣希望先を選択)



社協スタッフによる解説



派遣希望先を選びます。



ケース①～③

ボランティア
募集票

派遣を希望する
ボランティアの氏名



ケース④、⑤



ケース⑥～⑧



ケース⑨～⑪

★送り出し(ケース別)





ケース⑪

★被災場所でのボランティアの様子

- ①ケース1(ちょっと鼻につく若者)(社会福祉協議会内)
- ②ケース2(中国人)(個人宅)



- ③ケース3(障害者、車いす使用)
- ④ケース4(台湾人、高齢者、視覚障害)(個人宅)



- ⑤ケース5(ペットを飼っている高齢者)(協和三自治会集会所)



⑥ケース6(高齢姉妹、姉が認知症)(南街地区自治会集会所)



⑦ケース7(小さいお子さんがいる妊婦)(向原団地中央集会所)



⑧ケース8(高層住宅)

⑨ケース9(注文が多い人、高齢者)(個人宅)



⑩ケース10(高齢者夫婦)(ほっと支援センターなんがい)



⑪ケース11(避難所支援)(ハミングホール)



★ハミングホールへ再集合しボランティア体験の反省、「活動報告」の作成(ケース別)



★アンケートの記載、ビブスの返却



★全体反省(被災者の感想、意見など。ケース別)



社協様 司会





★全体反省(講評、閉会のことば)



★閉会・会場片付け



スタッフの皆様、お疲れ様でした。

5. 今回の被害想定（市防災計画より）

【被害の概要】 ※市防災計画をもとに想定

項目	内容
震源・震度	多摩直下 最大震度6強
発生日時	令和2年1月18日（土）午前5時00分
人的被害	死亡：59人（内要援護者27人）、負傷765人、
建物被害	全壊：774棟
火災被害	出火：3件、焼失：403棟（消火作業終了）
避難者	避難者（1日後）16,689人
ライフライン	停電率9.0%、通信不通率2.3%

令和元年度
東大和市 **災害ボランティア**
体験訓練 参加者募集

「災害ボランティアセンター」をみなさんはご存知でしょうか。災害時の復興にはボランティアの力が欠かせません。ボランティアを「必要とする人」と「活動したい人」をつなぐ場所、それが災害ボランティアセンターです。
今回は、災害ボランティアセンターに関する「災害ボランティア体験」の訓練を行います。みなさんには、ボランティア役として参加していただき災害時のボランティア体験と重要性について学んでもらいます。 ※訓練の内容は裏面へ

- ◆日時 令和2年1月25日（土）
13:50～16:30（受付13:30）
- ◆会場 ハミングホール（向原6-1）



※13時から自由参加の災害ボランティアセンターの説明会を実施します。特に初めて訓練に参加される方はぜひご参加ください。

主催：東大和市災害ボランティアセンター協議会
申込み：東大和ボランティア・市民活動センター
問合せ（東大和市社会福祉協議会内）
☎564-0035 fax564-3680



※1月17日（金）までにお申し込みください。 ※HPからも申込みできます。

○訓練のながれ（災害ボランティア役（市民の皆さん）が行うこと）

- 13:00 災害ボランティアセンターについての説明（自由参加）
- 13:30 ボランティア受付
13:50 オリエンテーション
マッチング（ボランティア活動の紹介、送り出し）
↓
被災者（役）のお宅または避難所（想定場所）へ移動
ボランティア活動を体験
↓
ハミングホールへ戻り、振り返り。
- 16:30 講評・閉会

定員
70名



※市民の方にはボランティア役として訓練に参加していただきます。

○災害ボランティアセンターとは？

地震などで被災し、助けを必要とする人と、ボランティアとして被災地の支援をしたい人をつなぐ機関で、災害時に臨時的に設置されます。被災地域が少しでも早く元の生活に戻るため、市民の皆さまの災害による「困りごと」にボランティアとともに対応します。

会場までのアクセス



【お楽しみ】

- ◆動きやすい服装でご参加ください。飲み物は各自ご用意をお願いします。
- ◆ハミングホールからボランティア活動先（市内各所）には自転車又は徒歩での移動となります。



以上